

中学生の視点からさまざまな質問が



中学生議会いよいよ開会です

市議会の役割や仕組みを学習することで、中学生に市政への関心を深めてもらうと昨年10月9日、「成田市中学生議会」が開催されました。市議会に準じて、市の執行部が出席する中、議長に指名された遠山中学校の柴野壮登さん、久住中学校の海保宏喜さんにより議事が進行。各中学校を代表する24人の中学生議員たちが、地域や生活について日ごろから疑問に感じていることを質問しました。今回はそのうちの主な質問と、それに対する答弁を紹介します。

成田市環境問題への取り組みについて

中台中学校

最近住宅の増加でマンションや一戸建ての建設が多く、緑が少なくなってきたと思います。一つの例として、はなのき台は以前、林だったところを切り開いています。僕の学校がある中台地区もボンベルタ周辺を見ていると、あまりにもたくさんのマンションが建設され、こんなにたくさんの方が建設され、こんなにたくさんの方が入るのだから、買う人がいるのだからかと考えてしまいます。人口を増やすことも大切だとは思いますが、自然を一定量

残し、気持ちよい空間を作ることでも大事ではないでしょうか。成田市は環境に対する何か配慮はあるのでしょうか。

次に、それに関連してごみ問題とリサイクルについて質問します。僕はよく公園にごみが捨てられているのを見かけます。もったごみ箱を増やせばポイ捨ては減少するのではないのでしょうか。そしてただのごみ箱ではなく、ふた付きのごみ箱にすればカラス対策にもなると思います。

リサイクルについては、スーパーマーケットなどにリサイクルボックスがあります。僕もよくそこを利用します。資源の乏しい日



しっかりと議長を務めた柴野壮登さん(遠山中学校・左)と海保宏喜さん(久住中学校)



本では、リサイクルも大事な行為だと思えます。特に最近では、原油の値上げや穀類の値上げなどで、それを実感しています。

しかしながら、リサイクルボックスはスーパリーやデパート以外のところではあまり見掛けられないので、公園や歩道などに設置し、もっと気軽にリサイクルができるようになると、ペットボトルの回収量が増加するのではないでしょう。また、広い意味でのリサイクルの一つとして太陽光を使った発電もあります。学校にもソーラーパネルを付けてエアコンの設置などではできないでしょうか。ごみを利用すれば、もっといろいろな可能性が広がると思います。無駄なエネルギー使用を減らし、予



質問一覧

1. 豊住中学校

- (1) コミュニティバスについて
- (2) 学校の統廃合について

2. 西中学校

- (1) 成田市の都市開発について
- (2) 成田空港から羽田空港への国際便移動について

3. 中台中学校

- (1) 空港と新しい交通機関について周辺の地域に影響はないか、また、成田空港は羽田に勝てるか
- (2) 成田市の環境問題への取り組みについて

4. 吾妻中学校

- (1) 外国人のためのインフォメーションについて
- (2) 歩道や緑道の整備について

5. 玉造中学校

- (1) 最先端技術の開発が進む企業の誘致について
- (2) 自然共生がテーマの施設について

6. 下総中学校

- (1) 障がい者福祉やバリアフリーの整備状況について
- (2) 生活用水の安全性について

7. 大栄中学校

- (1) 災害時の備えと対応について
- (2) 小・中学校の統合とその際の校舎利用について

8. 成田高等学校附属中学校

- (1) フリーマーケットの開催について
- (2) 水泳施設の充実について

9. 成田中学校

- (1) 災害時の障がい者・高齢者の避難等について
- (2) 学校施設のバリアフリー化について

10. 遠山中学校

- (1) 通学路の整備について
- (2) 給食について

11. 久住中学校

- (1) 通学時におけるバスの本数増加について
- (2) 防犯対策について

算を上手に使うこともよいことだと思います。

成田市の環境に対する配慮と対策、それに関連する太陽光を含むリサイクル活動の内容について教えてください。

市長

大勢の人々が集まる都市は、生活の場であるとともに、経済活動の場であるという二つの側面をもっており、個々の土地の使い方や建物の建て方には一定のルールが必要になってきます。

このルールを定めたものが都市計画です。そして、都市計画においては、計画的にまちづくりを進めるため、必要があるときは、道

路や公園といった公共施設を配置しながら、市街地としての整備、つまり「まちづくり」を進めていく「市街化区域」と自然環境などを保全する「市街化調整区域」の区分を定めます。

はなのき台や中台地区は、この「市街化区域」にあります。が、「まちづくり」には、そこに住む人々が快適に暮らすことができる良好な都市環境を作り上げていくことが求められます。

成田市では、街中の貴重な自然環境については、公園や緑地として整備・保全を図るとともに、マンションなどの建設に対しては、成田市開発行為等指導要綱や成田

市緑化推進指導要綱に基づき、今ある樹木を残したり、樹木を植えたりするなどして、緑地としての空間を一定の割合で設けるよう指導しており、緑化の推進と良好な都市環境の形成を図っています。

環境への配慮と環境保全対策の取り組み

成田市の環境に対する配慮と対策については、私たちは自然からのさまざまな恵みにより生きておりますが、今日の環境問題は、大量生産・大量消費型の社会経済により、自然界のバランスが崩れたことから生じており、その原因は、私たちの日常生活や事業活動によるものです。このため、



私たち一人一人がそれぞれの立場で、日常的に環境に配慮した行動を取っていかねばならないと考えています。

このようなことから、成田市では良好な環境を保全し、創造し、次の世代に引き継いでいくための基本的な考え方を定めた「成田市環境基本条例」を制定しました。

これに基づき、環境保全に関する長期的な目標と取り組み方針を示した「成田市環境基本計画」を策定し、大気汚染や水質汚濁などの公害防止をはじめ、水辺や里山などの自然環境の保全、ごみの減量化・資源化、地球温暖化防止対策の普及・啓発などの環境保全対策に取り組んできました。

また、市役所本庁舎においては、平成18年3月に環境に配慮した取り組みの国際規格である、ISO14001の認証を取得し、節電、節水、リサイクル、低公害車の導入、エコマーク製品の購入など、より一層の環境配慮行動の推進に努めています。

この環境基本計画は、合併前のものということもあり、見直しを図り、平成20年3月に新たな環境基本計画を策定しました。特にこの中で、水と緑はさまざまな生物の生息空間を形成し、私たちの

生活にうるおいをもたらすことから「豊かな水と緑を取り戻す」ことを重点項目の一つとして位置付け、今後、市民・事業者・市の3者が連携し、それぞれの立場で環境に配慮したいいろいろな取り組みを実施していきたいと考えています。

エコエネルギーによる発電システムの導入について

太陽光や風力など、新エネルギーの活用につきましては、環境への負荷の少ない循環型社会の形成、あるいは地球温暖化防止の観点からも、非常に大切なことと認識しています。

成田市としては、近年建設された公共施設では、小学校や中学校に太陽光風力発電による街灯を設置しました。また今後、公共施設の建設に際しては、その計画の段階で太陽光発電システムの導入を含め、十分検討していきたいと考えています。

今後、環境負荷の少ない、環境に配慮した、持続可能な「循環型社会」の形成のため、市民一人一人が環境保全意識を高めるとともに、市民・事業者との協力の下で、「自然と文化を育み、地球にやさしい環境都市成田」の実現に努めてまいります。



出席した中学生議員(敬称略)

豊住中学校…野平 将貴、浜本 美香
西中学校…小野えりか、五十嵐朱里
中台中学校…笹津 敏暉、大村 暁洋
吾妻中学校…藤澤 彬、花香 未央
玉造中学校…弘川 侑季、伊川 怜奈
下総中学校…木内 将太、金澤 牧子
大栄中学校…秋葉 怜奈、松田香奈恵

成田高等学校附属中学校…
中田 陽也、小寺 亮介
成田中学校…本多 茉菜、渡邊日奈子
遠山中学校…海老原涼香、那須 真人
柴野 壮登
久住中学校…海保 宏喜、幡山万里乃
海保 直也

公園へのごみ箱の設置について

ご提案をいただきました公園のごみ箱についてですが、現在はごみ箱を置かないこととなっております。市としては、ごみは市民の方々が自宅に持ち帰り処分することが基本と考えています。公園にごみ箱が設置されていると、そのごみが公園のごみ箱に捨てられてしま

うこと、さらに、明らかに家庭からのものと思われるごみまで捨てられてしまうこともあります。以上のような理由で、ごみ箱は置かず、現在はマナー看板を設置して、公園で食べたものなどは必ず持ち帰るようお願いしています。皆様も、ぜひ、マナーを守って公園を利用していただきますようお願いいたします。



災害時の障がい者・高齢者の避難等JUNSHU

成田中学校

毎年のように地震や集中豪雨による災害があり、多くの方が被災され住宅や公共施設なども大きな被害に見舞われています。

今年も落雷や豪雨が多く発生し、印旛郡内でも被害が出たと聞きました。学期の始めに行われる避難訓練では、先生から「いつ地震が来てもおかしくない状況にあり、地震災害に対する意識を持つことが大切」との話がありました。

私たち健常者は自分の身の安全を確保し、その後避難場所への移動もしやすいと思います。しかしながら、障がいを持っている方や高齢者の方の中には身の安全を確保できたとしても、避難場所への移動手段など他者の力を借りなければならぬ方もいます。

もし今後、成田市を含むこの地域に大地震や洪水などの災害が発生した場合、障がい者や高齢者の方々の避難方法、また、ケアが可能な避難場所が確保されているのかをお聞かせください。私の祖父も成田市に住んでいます。今はまだ二人とも元気ですが、年齢とともに身体が不自由になる可



能性があることも考えなくてはなりません。いつまでも安全に暮らしてもらいたいと思っています。

市長

災害が発生した場合の障がい者や高齢者の方々の避難方法につい

「共に輝く成田市づくりを」

中学生議会を終えて



成田市長 小泉一成

5回目を迎えた中学生議会ですが、各中学校からいただいた質問は、成田市が直面した重要課題に関するもの、生活や地域に密着したもの、身近な教育分野に関するものなど、いずれも素晴らしい内容でした。

ご意見やご提言の一つ一つを拜見すると、皆さんが

日ごろより、この成田市のことを真剣に考えていただいていることがうかがえ、先輩として、同じ市民として、そして市政を預かる者としてもたいへん心強く、誇らしく思います。

私も中学生時代は、毎日、生徒会活動や野球部の部活動に明け暮れていました。そうした中で得られた先輩や友人は、30年以上経った今、何よりも代えがたい大切な財産になっています。

ぜひ、皆さんも、ご家族、友人、先輩、後輩、先生など周りの方々に大切にして、みんなで助け合いながらこれからの人生を歩んでいただきたいと思ひます。

いずれ21世紀の成田を担う皆さんの活躍を刺激に、私たちも、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」を基本理念に、成田市の将来像を考えてまいります。

皆さんが、学業や部活動にも専念されて、充実した中学校生活を過ごすことができるよう、心からお祈りいたします。将来の可能性を大いに秘めた皆さんと一緒に明日から輝く成田市づくりをしていきたいと強く願っております。

て、本市では、自力で避難することが困難だと思われる障がい者、高齢者の方々の災害時要援護者を近隣の方々が協力して、支援の仕組みづくりをする災害時要援護者避難支援制度を立ち上げました。現在、対象となる方々のうち、同意をいただいた方の名簿により、地域団体が中心となり、自主防災会、民生委員、消防団の協力を得て、それぞれの方の支援協力者を決めているところです。この制度により、災害時要援護者の方々への安否確認、避難などについての支援の仕組みづくりを強化し、安全・安心な体制を築いてまいります。

※今回の質問と答弁は市民支援課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/shien/index.html>)または行政資料室(市役所1階)で公開しています。くわしくは同課(☎20-1507)へ。